

特定非営利活動法人サロン 2002

2022 年度 活動報告書



はじめに

オリンピックイヤーだと思っていた 2020 年の年明けから 3 年半、ようやく After コロナがみえてきました。「かつての日常」を取り戻すだけでなく、「新しい日常」を築き上げていく段階です。昨年度の活動報告書「はじめに」から一部転載します。

コロナ禍で得た新たな知見を活かしながら、“働き方”“学び方”“遊び方”を含む“生き方”そのもののリニューアルに挑戦する段階にあります。スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”に掲げるサロン 2002 も、持続可能な NPO のすがたを模索しています。

(中略) コロナ禍の 2 年半は、自分たちのあり方や方向性を考えるよい機会となりました。「スポーツを通しての“ゆたかなくらし”」のあり方についても、「新しい日常」に沿って考え、行動していく必要があるでしょう。足元をしっかりと見据えたうえで、グローバルな視点で“志”の実現に取り組みます。

サロン 2002 の名称で活動をはじめた 1997 年は、インターネットが普及しはじめた時期でした。“志”を同じくする全国の仲間がつながったのは画期的でした。当時は誰もが「ネットワークをフットワークにつなげる」マインドを持ち、リアルな時間・空間を共有する仲間でありたいと願っていました。それが月例会をはじめとする様々な事業の活性化につながりました。

当時と比べると、世の中は大きく変貌しました。とくにコロナの 3 年半は、対面で会う機会が奪われるつらさや、時空を超えたつながりが生まれるよろこび、そして日常の中に非日常が食い込む戸惑いを感じました。オンラインでのつながりには大きな可能性がありますが、その限界も感じました。

人々の意識も変わってきました。サロン 2002 創設期からの中心メンバーは年齢を重ね、“志”のもとに多様な人材がつながるサロン 2002 のよさが失われることも危惧されました。このような中で、<サロン 2002 行動規範—「ちゃんと遊ぶ」ためのリスペクト宣言>を定めたのは、2022 年度の大きな成果です。当たり前の再確認ではありますが、言葉にすることは大切です。「ちゃんと遊ぶための“サンマ”—時間、空間、仲間」を常に意識しながら、このつながりを大事にしていきたいと思えます。

2021 年度から月例会は「月例サロン」となり、一般公開型の「公開サロン」と、サロン 2002 ファミリー限定の「限定サロン」に整理されました。2022 年度のメインテーマは「ユースリーグ」と「スポーツとアート」でしたが、議論を進めるうちに、スポーツやアートの原点にある“遊び”がフォーカスされるようになりました。1 月の公開サロンは「もっと遊ぼう！—スポーツとアートにできること」と題して神戸で開催されました。2023 年度にも引き継いでいきたいと考えます。

toto 助成を受けて取り組む U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップは、NPO 法人サロン 2002 の中核行事となりました。開催地の長野県千曲市と太いパイプでつながり、11 月の公開シンポジウムは千曲市の会場での対面と、オンラインで全国をつなぐハイブリッド型となりました。「温泉街をスポーツで盛り上げよう！」は重要なテーマです。千曲市とともにこの事業をますます盛り上げていく所存です。

2 回の公開シンポジウムの内容は、toto 助成を受けて発刊した報告書『遊 ASOBI』に掲載されています。われわれの成果をいかに発信し、仲間の輪を広げていくかが今後の課題です。

2022 年度の活動報告書をお届けします。そして仲間の輪に加わっていただければ幸いです。

2023（令和 5）年 8 月
特定非営利活動法人サロン 2002
理事長 中塚義実

サロン 2002 行動規範

ー「ちゃんと遊ぶ」ためのリスペクト宣言ー

1997 年度にサロン 2002 が生まれて 25 年。2014 年度の法人化から 8 年が経過しました。私たちは「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”」を“志”に掲げていますが、スポーツ界も“ゆたかなくらし”のあり方も、とらえ方や取り巻く状況は大きく変化しています。とくにコロナ禍でその変化は加速しました。

その中で、改めて思います。“志”の実現に向けてもっとも大事なものは、「ちゃんと遊ぶ」ための仲間同士の心がまえだということ。

ここにサロン 2002 の行動規範をく「ちゃんと遊ぶ」ためのリスペクト宣言として示します。

“志”に賛同する仲間とともに語り合い、行動する、“Give and Take”の第一歩として遵守してください。安心して参加し、自由に発言できるファミリーを築き、“志”の実現を目指します。

1. 多様性の重視と尊重ー「安心して発言できる場をつくります」

私たちは、すべての人を個人として尊重し、多様性を重視します。性別、年齢、職業、国籍、人種、思想、信条、宗教、社会的地位または門地、障がいの有無等を理由とする差別や人権侵害を認めません。

そしてあらゆる場面において人権を尊重し、自らが差別や人権侵害に関与しないよう努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

2. ハラスメントの禁止ー「相手の立場に立って考え、行動します」

私たちは、あらゆる差別やハラスメント行為を許容せず、そのような行為に繋がる事象を防止するために不断に取り組んでいきます。

3. コンプライアンスの重視ー「ルールとマナーを守ります」

私たちは、基本的人権を擁護し、ルールとマナーを守り、社会の一員としてコンプライアンスを遵守した事業活動を行います。

4. 表現の自由とプライバシーの保護ー「リアルとオンラインをともに大切にします」

私たちは、文字や音声、通信やインターネット、ソーシャルメディア上でのコミュニケーションでの表現の自由とプライバシー保護についても認識し、その侵害がないように最大の注意を払います。

本ポリシーの制定と改訂

2022 年 12 月 22 日制定 NPO サロン 2002 理事会にて承認

目 次

はじめに	1
特定非営利活動法人サロン2002理事長 中塚義実	
サロン 2002 行動規範ーちゃんと遊ぶためのリスペクト宣言	2
目 次	3
【調査研究・情報提供・普及啓蒙事業】	
1. 月例サロン	4
2. 公開シンポジウム	12
【イベント開催事業】	
3. 第7回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ	14
4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム	17
【人的ネットワーク管理運営事業】	
5. 事務局報告	20

1. 月例サロン

NPO 法人サロン 2002 の中核となる活動が「月例サロン（旧名称は月例会）」である。サロンファミリーのみ参加できる「限定サロン」は6月、10月、12月の3回、それ以外は誰でも参加できる「公開サロン」であった。期日・会場・参加者・テーマは表のとおりである。年間を通して参加者総数は264名であった。

＜2022年度月例サロン一覧＞

通算回数	期日	会場	参加者				テーマ (報告・話題提供者)
			NPO会員	サロンファミリー	ファミリー外	参加者計	
第306回	4.19.	オンライン(ZOOM)	8	15	18	33	ユースリーグのこれからを考える①-「DUOリーグのトロフィーがない!」プロジェクトを中心に (中塚義実、土谷享、佐藤いちろう、嶋野雅春★)
第307回	5.10.	オンライン(ZOOM)	4	10	12	22	ユースリーグのこれからを考える②-U-18フットサルリーグを中心に (中塚義実、本多克己ほか)
第308回	6.18.	オンライン(ZOOM)	9	10	0	10	(限)総会後の意見交換会-サロン2002の事業と組織を考える
第309回	7.19.	オンライン(ZOOM)	5	12	5	17	歯磨き感覚でスポーツは可能か?(第2弾)-18年前の続きの話 (土谷享、井関信雄★)
第310回	8.26.	オンライン(ZOOM)	5	10	8	18	岐阜県発 陸上クラブが提供する新しい価値 一部活動地域移行・競技横断・ITシステム活用のコーチング(中宗一郎、春日大樹)
第311回	9.30.	オンライン(ZOOM)	3	17	3	20	2022世界のサッカー-オリンピックとワールドカップの間で (井上俊也)
第312回	10.19.	オンライン(ZOOM)	7	8	0	8	(限)公開シンポジウムの“成功”のために-テーマ設定・情報発信・成果の共有
第313回	11.13.	千曲市総合観光会館/ オンライン(ZOOM)	5	10	28	38	公開シンポジウム①「温泉街をスポーツで盛り上げよう! -U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」 (岡田昭雄★、本多克己、福角有結★、中塚義実)
第314回	12.15.	オンライン(ZOOM)	4	14	0	14	(限)ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構え-サロン 2002 行動規範をつくろう!
第315回	1.15.	オンライン(ZOOM)	7	20	38	58	公開シンポジウム②「もっと遊ぼう! -スポーツとアートにできること」 (三好天都★、椎名一平★、土谷享、中塚義実)
第316回	2.22.	オンライン(ZOOM)	3	5	6	11	第13回国際ビエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告 -コロナ禍でのオリンピック教育 (内藤智★、中塚義実ほか)
第317回	3.13.	オンライン(ZOOM)	7	17	1	18	みるスポーツとしてのFIFAワールドカップ-カタル大会を振り返って (徳田仁、田中俊也、守屋俊秀、笹原勉、中塚義実ほか)
			67	148	119	267	★は月例サロンの時点でサロン2002ファミリーでない方

※サロンファミリーのうち
NPO会員数

参加者総数

月例サロンの内容は報告書にまとめ、誰もが閲覧できる形で、NPO サロン 2002 のホームページに掲載されているのでご参照されたい。以下に概要のみ記載する。

《2022年4月（通算306回） 公開サロン》

【日時】2022年4月19日（火）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】ユースリーグのこれからを考える①

- 「DUOリーグのトロフィーがない!」プロジェクトを中心に

【演者】中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校）

土谷 享（アートユニット KOSUGE1-16）、佐藤いちろう（靴郎堂本店）

嶋野雅春（DUO リーグチェアマン／城西高校）ほか DUO クラブの皆さん

【共催】DUO リーグ

【参加者（サロン 2002 ファミリー）15名】★は NPO 会員

★天羽礼（筑波大学附属高等学校）、安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ／医師）、大河原誠二（桐一族／筑波大附サッカー部 OB）、★春日大樹（NPO サロン 2002 理事／筑波大学蹴球部 OB）、★岸卓巨（NPO サロン 2002 理事／FC 西巣鴨 03）、小松俊介（筑波大学附属高校）、佐藤いちろう（靴郎堂本店）、★嶋崎雅規（NPO サロン 2002 理事／国際武道大学）、橘和徳（富山県立富山中部高校）、

★茅野英一（NPO サロン 2002 監事／元帝京大学）、張寿山、★土谷享（アートユニット KOSUGE1-16）、★中塚義実（筑波大学附属高校／NPO サロン 2002 理事長）、本郷由希（会社員）、★本多克己（NPO サロン 2002 副理事長／㈱シックス）

【参加者（サロン 2002 ファミリー以外）18 名】

荒川浩幸（(一社)北海道フットサル連盟専務理事）、石原克哉（淑徳巣鴨高校）、井上豪（郁文館高校）、井上敬義（京華商業高校）、牛山優（桐生第一高校）、内田裕之（自由学園）、倉口大（都立向丘高校）、小曾根潮（立命館宇治中高）、塩田憲一（豊南高校）、嶋野雅春（城西高校）、杉本晃浩（貞静学園）、田中大翔（都立足立新田高校）、都丸恒介（本郷高校）、永井直樹（昭和第一高校）、橋本博（立教池袋高校）、早川幸治（豊島学院高等学校サッカー部顧問教諭）、速水高志（筑波大学附属高校）、平山黎（東洋大京北）

【報告書作成者】 守屋俊秀 ほか

【目次】

はじめに

I. DUO リーグの理念とあゆみ

II. DUO リーグのトロフィーがない！プロジェクト

III. DUO リーグのこれから

おわりに

【キーワード】

DUO リーグ、ユースリーグ、高校サッカー、U-18、部活動改革、靴型トロフィー、スポーツとアート、遊び心、中塚義実、土谷享、佐藤いちろう

《2022 年 5 月（通算 307 回） 公開サロン》

【日 時】2022 年 5 月 10 日（火）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】ユースリーグのこれからのを考える② -U-18 フットサルリーグを中心に

【演 者】中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校／TFA フットサル委員会第 2 種部会長）

本多克己（NPO サロン 2002 副理事長／㈱シックス／神戸アスリートタウンクラブ理事長）

ほか全国各地で U-18 フットサルリーグに携わる皆さん

【参加者（サロン 2002 ファミリー）10 名】★は NPO 会員

磯和明（国立市で 4 種サッカーコーチ&大人のフットサルチーム）、大河原誠二（桐一族／筑波大附サッカー部 OB）、★春日大樹（NPO サロン 2002 理事／筑波大学蹴球部 OB）、鈴木崇正、橘和徳（富山県立富山中部高校／富山県フットサル連盟 U-18 担当）、★中塚義実（筑波大学附属高校／NPO サロン 2002 理事長）、本郷由希（会社員）、★本多克己（NPO サロン 2002 副理事長／㈱シックス）、守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター）、★守屋俊秀（シニアプレーヤー／東京都 2 級審判員）

【参加者（サロン 2002 ファミリー以外）12 名】

荒川浩幸（(一社)北海道フットサル連盟専務理事）、有吉朋喜（東京都フットサル連盟 U-18 統括理事／TFA フットサル委員会第 2 種部会）、池田義人（福島県フットサル委員長／福島県フットサル連盟理事長／東北フットサル連盟理事長）、犬塚知良（静岡県フットサル連盟ユース担当）、牛山優（桐生第一高校）、大友洋介（武相高校フットサル部／神奈川県フットサル連盟理事長）、菊池宏志（宮城県聖和学園高校）、小曾根潮（立命館宇治中高）、碓田直文（兵庫県フットサル連盟／神戸国際大学附属高校フットサル部）、高原渉（宝塚 FC）、鶴田文彦（エンフレンテ熊本）、本山準一（北海道フットサル連盟）

【報告書作成者】 守屋俊秀 ほか

【キーワード】

フットサル、ユースリーグ、U-18、部活動改革、リーグチャンピオンズカップ、遊び心、中塚義実、本多克己

【目次】

はじめに

- I. 育ててほしいU-18フットサルリーグサロン2002からのメッセージ（中塚義実）
- II. U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの現状と課題（本多克己）
 - ーコロナ禍での大会運営と動画配信の取り組み
 - ー各地域リーグの2021年度実施状況など
- III. 各地域の現状

《2022年6月（通算308回） 限定サロン》

【日時】2022年6月18日（土）16：35～18：00（終了後はオンライン懇親会 ～22：00）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】NPOサロン2002総会後の意見交換会ーサロン2002の事業と組織を考える

【演者】中塚義実（NPOサロン2002理事長／筑波大学附属高校）

【参加者10名】 ★はNPO会員

★春日大樹、★熊谷建志、★小池靖、★関秀忠、★茅野英一、★土谷享、★中塚義実、本郷由希、★本多克己、皆川宥子

【報告書作成】中塚義実

【目次】

はじめに

- I. 問題提起「サロン2002の事業と組織を考える」（中塚義実）
- II. ディスカッション
 1. サロン2002のロゴについて
 2. 事業について：月例サロンと公開シンポ
 3. 組織について：業務の洗い出し
 4. 今後に向けて

《2022年7月（通算309回） 公開サロン》

【日時】2022年7月19日（火）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会 ～23：30）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】歯磨き感覚でスポーツは可能か？（第2弾）ー18年前の続きの話

【演者】土谷享（KOSUGE1-16／NPOサロン2002理事）

井関信雄（スケートボードフォトグラファー）ほか

【参加者（サロン2002ファミリー）12名】 ★はNPO会員

安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ）、磯和明（国立市総合型地域スポーツクラブ運営／少年サッカーコーチ／大人のフットサルコーチ）、北川信行（産経新聞編集委員）、★熊谷建志、★小池靖、小松俊介（筑波大学附属高校美術科）、佐藤いちろう（靴郎堂本店）、★嶋崎雅規（国際武道大学）、田中俊也（救急医療センター）、★中塚義実（筑波大学附属高校教諭／NPOサロン2002理事長）、★本多克己（サロン2002、神戸アスリートタウンクラブ）、本郷由希（会社員）

【参加者（サロン2002ファミリー以外）5名】

井関信雄（スケートボード写真家）、里村真理（宇城市不知火美術館）、福地修也（筑波大学附属高校保健非常勤講師）、三富章恵（NPO法人アーツセンターあきた）、宮城潤（那覇市若狭公民館）

【報告書作成】天羽礼 ほか

【目次】

概要（土谷享）ー公開サロン案内より

I. 土谷氏の「いま」の取り組み

ー台北子ども芸術祭における「PON-TAN 島」 台北パフォーミングアートセンター

II. 土谷氏と井関氏の「18年前」の取り組み

ーストリートで遊ぶ 墨田区向島／那覇市前島アートセンター

III. スケートボードフォトグラファーとしての井関氏の視点

IV. ディスカッション

【キーワード】

歯磨き感覚、遊び心、スポーツ、アート、
スケートボード、土谷享、井関信雄

《2022年8月（通算310回） 公開サロン》

【日時】2022年8月26日（金）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】岐阜県発 陸上クラブが提供する新しい価値

一部活動地域移行・競技横断・ITシステム活用のコーチング

【演者】中宗一郎（NPO法人リクスパート 理事／株式会社ATONS 代表）

春日大樹（ハルノヒ コンサルティング 代表／NPOサロン2002 理事）

【参加者（サロン2002ファミリー）10名】★はNPO会員

★天羽礼、磯和明、★春日大樹、金子正彦、北川信行、★熊谷建志、★嶋崎雅規、張寿山、
★中塚義実、本郷由希

【参加者（サロン2002ファミリー以外）8名】

今澤絵梨菜（甲文堂）、岡田浩一、影行崇文、齋藤登（東京FA ユースダイレクター）、
中宗一郎、水島淳、盤所杏子、福地修也、

【報告書作成】春日大樹ほか

<目次>

0. 自己紹介

1. NPO法人 RIXPERT 設立の背景

2. RIXPERT の指導について

《ディスカッション① 施設と移動》

《ディスカッション② 公共施設を利用する際の収益事業の是非》

3. RIXPERT のイベント

4. RIXPERT の IT ツールを活用した指導について

《ディスカッション③ 動画撮影や IT ツールの運用》

《ディスカッション④ NPO の運営について》

5. 今後の見通し

《ディスカッション⑤ 部活動改革について》

《ディスカッション⑥ クラブの会費の考え方について》

《ディスカッション⑦ 持続可能なクラブにするために必要な事とは》

6. 最後に

《2022年9月（通算311回） 公開サロン》

【日時】2022年9月30日（金）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会 23：30まで）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】2022世界のサッカー—オリンピックとワールドカップの間で

【演者】井上俊也（大妻女子大学）

【参加者（サロン2002ファミリー）17名】★はNPO会員

磯和明、宇留間範昭（東急）、井上俊也（大妻女子大学）、★春日大樹（NPOサロン2002理事）、北川信行（産経新聞）、小池靖、木村康子（ライター・編集者）、★熊谷建志（NPOサロン2002理事）、鈴木崇正（会社員）、田中俊也（三日市整形外科@富士市）、張寿山（スフィード世田谷）、徳田仁（株セリエ）、★中塚義実（筑波大附属高/NPOサロン2002理事長）、福地修也（筑波大附属高）、本郷由希（会社員/NPOサロン2002理事）、守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター）、吉原尊男

【参加者（サロン2002ファミリー以外）3名】

今澤絵梨菜（甲文堂）、岡田浩一、齋藤登（東京FAユースダイレクター）

【報告書作成】守屋俊秀ほか

<目次>

ごあいさつ（中塚義実）

はじめに（井上俊也）

I. 2020東京オリンピックで見られた男子サッカーの変化

<ディスカッション①>

II. 2018年に始まったUEFAネーションズリーグ

III. FIFAワールドカップの変化

<ディスカッション②>

1. 気になる中国の動向
2. レベル別リーグとブロック内での対抗戦
3. パリ・サンジェルマンのジャパンツアーからみえるもの
4. ナショナルリズム、コマーシャルリズムとグローバル化—ワールドカップのこれから
5. おわりに

<キーワード>

オリンピック、ワールドカップ、代表チーム、選手構成、ネーションズリーグ、EURO、パリ・サンジェルマン、グローバル化、ナショナルリズム、コマーシャルリズム

《2022年10月（通算312回） 限定サロン》

【日時】2022年10月19日（水）19：30～21：30 ※終了後はオンライン懇親会

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】公開シンポジウムの“成功”のために—テーマ設定～情報発信～成果の共有（仮題）

【問題提起】中塚義実&広報宣伝チームほか

【参加者（8名）】 ★はNPO会員

★春日大樹、★熊谷建志、★齊藤宣彰、★茅野英一、★土谷享、★中塚義実、本郷由希、★本多克己

【懇親会から参加】★小池靖、福地修也

【欠席連絡あり】安藤裕一、★関秀忠

【報告書作成】春日大樹

【目次】

はじめに

I. 2022年度の公開シンポジウムについて

1. 11月13日の公開シンポジウム@千曲（U-18FLCC オープニングサロン）
2. 1月14日 or 15日の公開シンポジウム@神戸

II. サロン2002からの情報発信のあり方について

1. 告知と募集：ホームページとSNSの活用
2. 成果の公開：報告書等コンテンツの扱いと活かし方
3. 持続可能な運営：会員管理と会費徴収

III. その他

《2022年11月（通算313回） 公開シンポジウム@千曲》

11月13日（日）に、千曲市総合観光会館和室コワーキングスペース Gorori およびオンライン（Zoom）で公開シンポジウム@千曲を実施。テーマは「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ーU-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲」

《2022年12月（通算314回） 限定サロン》

【日時】2022年12月15日（木）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会 23：30まで）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン2002行動規範をつくろう！

【参加者（サロン2002ファミリー）14名】★はNPO会員。コメントはチャット欄の引用等

雨宮知子・半井真明（合同会社CHEZA 共同代表）、磯和明（少年サッカーコーチ）、★熊谷建志（会社員/NPOサロン2002理事）、白井久明（弁護士）、鈴木崇正（会社員）、★茅野栄一（NPOサロン2002監事/大学教員/元公務員）、土谷享（NPOサロン2002理事/アートユニットKOSUGE1-16）、★中塚義実（NPOサロン2002理事長/筑波大学附属高校）、野村忠明（会社員/埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員）、福地修也（筑波大学附属高校保健体育科非常勤講師）、★本多克己（NPOサロン2002副理事長/㈱シックス）、本郷由希（会社員/NPOサロン2002理事）、柳りこ（多摩大学経営情報学部事業構想学科3年）

【報告書作成】中塚義実

【概要（理事長より）】 ※事前に送った案内より

11月10日にサロン2002ファミリー向けに「理事長からのメッセージ」と「サロン2002行動規範（たたき台）」を送信しました。行動規範は「ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構え」であり、「当たり前」の再確認です。常に見直し続けることを前提に、まずは年内の完成を目指します。12月22日の理事会で確定させ、1月からの2023年度ファミリー登録の際に示すことを想定しています。

今年最後の月例サロンは、サロン2002行動規範について議論する「限定サロン」です。理事間ではかなり突っ込んだ議論をしていますが、サロン2002ファミリー全体で意見交換したいと思い、この場を設けました。

なぜいま行動規範なのかについて、理事長から改めて問題提起をいたします。そして、指導現場のハラスメント問題、競技団体のガバナンス問題など、昨今のトピックを共有し（この部分の話題提供

者募集中)、「サロン 2002 行動規範」策定とその有効活用、サロン 2002 の今後について自由にディスカッションしたいと思います。

せっかくの師走の会合です。終了後の懇親会も含め、有意義な時間にしていきたいですね。

1. 社会の変化とサロン 2002 のすがたー1997～2014～2022 (中塚義実)

今回のテーマ設定の背景について理事長が述べます。問題提起の部分です。

2. スポーツ界の現状と課題ーハラスメント、ガバナンス、コンプライアンス (参加者)

ハラスメント問題やガバナンス問題などで共有しておきたい事例、さまざまな団体が設けている行動規範や指針などを共有します。

3. ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン 2002 行動規範をつくろう! (意見交換)

・12月22日の理事会で確定しますが、盛り込むべき内容、体裁、提示の仕方など、自由に意見交換しましょう

・行動規範を作っておしまいではありません。これをどう活かすかが重要です

・サロン 2002 は何をすべきか? どのように? こういったことも自由に意見交換したいですね。

《2023 年 1 月 (通算 315 回) 公開シンポジウム@神戸》

1月15日にデザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO/キイト)およびYouTube配信で公開シンポジウム@神戸を実施。テーマは「もっと遊ぼう!ースポーツとアートができること」。

《2023 年 2 月 (通算 316 回) 公開サロン》

【日時】2023年2月22日(木)19:30~21:30 ※終了後はオンライン懇親会(~23:30)

【会場】オンライン(Zoom)

【テーマ】第13回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告
ーコロナ禍でのオリンピック教育

【演者】内藤智(中京大学附属中京高校)

【コーディネーター】中塚義実(筑波大学附属高校/NPOサロン2002理事長)

【参加者(サロンファミリー)5名】 ★はNPOサロン2002会員

★小池靖(在さいたまサッカースポーツ少年団指導者/長野県在住/会社員)、★笹原勉(日揮グローバル株式会社/台北在住)、★中塚義実(NPOサロン2002理事長/筑波大学附属高校)、柳りこ(多摩大学経営情報学部事業構想学科3年)、吉原尊男

【参加者(サロンファミリー外)6名】

青柳秀幸(JOAオリンピック教育研究部門委員/国士舘大学大学院)、塩田憲一(豊南高校教諭)、田原淳子(国士舘大学)、内藤智(中京大附属中京高校)、山田恵子(自由学園女子部)、來田享子(中京大学)

【懇親会からの参加者】春日大樹

【報告書作成】柳りこほか

【キーワード】

国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム、
日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム、
オリンピック教育、国際 YF、国内 YF、
オリンピック・パラリンピック教育、オリパラ教育、
CIPC、CJPC、ミュンヘン

【目次】

はじめに

- I. 選考から派遣まで
- II. 国際ユースフォーラムの実際①－異文化理解と交流
- III. 国際ユースフォーラムの実際②－印象的なプログラム
- IV. 国内ユースフォーラム 2022－TOKYO2020 のレガシー

《2023年3月（通算317回） 公開サロン》

【日 時】 2023年3月13日（月）19：30～21：30 ※終了後はオンライン懇親会（～23：30）

【会 場】 オンライン（Zoom）

【テーマ】 みるスポーツとしてのFIFAワールドカップ－カタール大会を振り返って

【演 者】 徳田仁（㈱セリエ）、田中俊也（三日市整形外科）、
守屋俊秀（シニアサッカープレイヤー）、笹原勉（日揮グローバル株式会社）、
中塚義実（筑波大学附属高校）

【参加者（サロンファミリー）17名】 ★はNPOサロン2002会員

磯和明、宇留間範昭（東急㈱／渋谷在住・在勤のサッカー好きなサラリーマン）、金子正彦（会社員）、木村康子（ライター／アーセナルサポーター）、★笹原勉（日揮）、鈴木崇正（会社員）、田中俊也（三日市整形外科）、★茅野英一（NPOサロン2002監事）、張寿山（明治大学／スフィード世田谷ブラインドサッカーチーム代表）、徳田仁（㈱セリエ）、★中塚義実（NPOサロン2002理事長／筑波大学附属高校）、野村忠明（会社員／埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員）、★本郷由希（会社員）、★守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター／ウォーキングフットボールの競技者）、★守屋俊秀（シニアサッカープレイヤー）、★山内直（浦和レッズ）、吉原尊男

【参加者（サロンファミリー外）1名】 岡田浩一

【報告書作成】 守屋俊秀

【目次】

はじめに

- I. 観戦ツアー企画業者の立場から：徳田仁
- II. 観戦ツアー参加者の立場から①：田中俊也
- III. 観戦ツアー参加者の立場から②：守屋俊秀
- IV. 独自ツアーでの現地観戦：笹原勉
- V. メディアで楽しむ「国内組」のワールドカップ：中塚義実

【キーワード】

FIFAワールドカップ、カタール、みるスポーツ、ライブスポーツ、メディアスポーツ、観戦ツアー、㈱セリエ、ABEMA、徳田仁、田中俊也、守屋俊秀、笹原勉、中塚義実

2. 公開シンポジウム

公開サロンの拡大版として公開シンポジウムを年2回実施した。報告書作成・送付も含め、totoの助成を受けた。公開サロン、公開シンポジウムは東京都で実施されることが多いが、2022年度の公開シンポジウムは長野県千曲市と兵庫県神戸市で開催した。コロナ感染対策を十分施した会場での対面参加と、オンラインでの参加のハイブリッド方式を採用した。

公開シンポジウム@千曲は、1月に当地で開催されるU-18フットサルリーグチャンピオンズカップのオープニング企画としての位置づけもあり、千曲市長からお祝いのメッセージをいただいた。

いずれのシンポジウムについても、公開シンポジウム報告書『遊ASOBI』に詳細な報告が掲載されている。NPOサロン2002のホームページからも閲覧することができる。

《2022年11月 公開シンポジウム@千曲》

【日時】2022年11月13日(日)14:30~17:00(終了後は懇親会 19:00すぎまで)

【会場】千曲市総合観光会館和室コワーキングスペース Gorori およびオンライン (Zoom)

【テーマ】温泉街をスポーツで盛り上げよう!

—U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ オープニングサロン@千曲

【スピーカー】

＜ビデオメッセージ＞ 小川修一(千曲市長)

＜登壇者＞岡田昭雄(前千曲市長)……………千曲市の魅力とU-18FLCC

本多克己(NPOサロン2002副理事長)……………第7回U-18FLCCと地域リーグの現状

福角有紘(多摩大学フットサル部監督)……………世界とつながるU-18フットサル

中塚義実(NPOサロン2002理事長/筑波大学附属高校教諭)※コーディネーター

【会場参加者24名】

＜地元の方々 16名＞

岡田昭雄(前千曲市長)、小沼浩栄(信州千曲観光局)、鍛冶博一(ゲストハウスなからや)、梶義明(千曲市サッカー協会 埴生少年サッカークラブ代表)、近藤弘之(信州千曲観光局)、清水則子(昭和の寅や ゲストハウス)、白石茂樹(ちくま未来新聞 編集長)、関陽平(ホテル圓山荘 予約センター)、タイラーリンチ(亀清旅館)、竹前航太(戸倉上山田商工会)、永田泰彦(信州千曲観光局)、西澤正太郎(小石の湯 正明館)、柳ヶ瀬貴一郎(有田屋旅館 代表取締役社長)、ほか3名

＜サロン2002ファミリー 6名 ★はNPO会員 >

池田駿介(山梨大学3年/筑波大附高卒)、★井上俊彦(会社員/上田市在住)、★中塚義実(筑波大附属高/NPOサロン2002理事長)、★本郷由希(会社員)、★本多克己(株シックス/NPOサロン2002副理事長)、皆川宥子(会社員/筑波大附高卒)

＜ファミリー外の登壇者・運営スタッフ 2名＞

福角有紘(多摩大学体育会フットサル部)、常木翔(会社員/筑波大附高卒)

【オンライン参加者 14名】

＜サロン2002ファミリー 4名 ★はNPO会員 >

★小池靖(一般社会人)、白井久明(弁護士)、橘和徳(富山県U-18リーグ)、福地修也(筑波大附高非常勤講師)

＜サロン2002ファミリー外 10名＞

石井智(錦城高校フットサル部/TFAフットサル委員会2種・3種部会)、石井拓道(徳島県FAフットサル委員長)、金納正善(福岡県フットサル連盟)、小西鉄平(日本サッカー協会)、畠田直文

(兵庫県フットサル連盟／神戸国際大学附属高校フットサル部)、杉水孝広(熊本県フットサル連盟)、今澤絵梨菜(甲文堂)、土井陽介(シュライカー大阪 U-18)、原陽司(フウガドールすみだ／TFA フットサル委員会 2種・3種部会)、柳りこ(多摩大学3年)

《2023年1月 公開シンポジウム@神戸》

【日時】2023年1月15日(日) 14:30~17:10(終了後は懇親会 18:30まで)

【会場】デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO/キイト)

注) YouTubeでの動画配信あり(限定公開)

【テーマ】もっと遊ぼう!ースポーツとアートができること

【パネラー】三好天都(KIITO企画事業部スタッフ)

椎名一平(株式会社アシックス、キッズプロダクト部)

土谷 享(美術家、KOSUGE1-16)

中塚義実(NPO サロン2002 理事長、筑波大学附属高校教諭) ※司会

【会場参加者 23名】★はNPO会員

＜サロン2002ファミリー 10名＞

雨宮知子(合同会社CHEZA)、池田駿介(山梨大学3年)、★高原渉(宝塚FC)、竹内佳久(芦屋市障がい者スポーツ協会)、★土谷享(KOSUGE1-16/NPO サロン2002 理事)、★中塚義実(筑波大附属高/NPO サロン2002 理事長)、半井真明(合同会社CHEZA)、本郷由希(会社員/NPO サロン2002 理事)、★本多克己(株シックス/NPO サロン2002 副理事長)、皆川宥子(会社員)

＜サロン2002ファミリー外 13名＞

氏川彩加(六甲山観光株式会社)、浦内怜子(六甲山観光株式会社)、鍵野剛一(兵庫県高体連サッカー部)、岸田育也(神戸フットボールクラブ)、久保拓也(淡路島アートセンター)、椎名一平(株式会社アシックス キッズプロダクト部)、曾我高明(現代美術製作所)、戸川由子(一般参加)、西村達衛(兵庫県モルック協会/神戸アスリートタウンクラブ)、三好天都(KIITO 企画事業部スタッフ)、やまぐちくにこ(淡路島アートセンター)、鷲尾英玲奈(六甲山観光株式会社)、ほか1名

【YouTube 視聴者 35名】 ★はNPO会員

＜サロン2002ファミリー 10名＞

宇留間範昭(会社員)、★岸卓巨(一般社団法人A-GOAL)、北原由(都立武蔵高等学校)、★小池靖(在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者)、★嶋崎雅規(国際武道大学)、★関秀忠(サロン2002)、張寿山(明治大学)、中屋晋(日本部活指導研究協会)、福地修也(筑波大学附属高校 非常勤講師)、柳りこ(多摩大学経営情報学部事業構想学科3年)

＜サロン2002ファミリー外 25名＞

有門正太郎(有門正太郎プレゼンツ)、岡村忠弘(NPO 法人脳損傷友の会高知青い空)、越智香苗、重村のぞみ(特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ)、杉本智史(デザイン・クリエイティブセンター神戸)、滝谷良介(阪神ユナイテッド)、寺澤延浩(阪神ユナイテッド)、土山あやか(一般)、中島紀子(イベント参加者の保護者)、中村あゆみ(大修館書店)、橋詰一生(洲本市)、平谷尚大(特定非営利活動法人 脳損傷友の会高知 青い空)、藤井さち代(特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ)、福澤真裕子(イベント参加保護者)、松宮俊文(松山ブンカ・ラボ)、山本千絵(まつやまNPO サポートセンター)、ほか9名

3. 第7回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

ご挨拶

すばらしかった決勝戦ー第7回大会を終えて

すばらしいゲームでした。今年度のU-18 フットサルを締めくくるにふさわしい国内最高水準の、世界につながるゲームでした。

優勝したフウガドールすみだと準優勝のベスカドーラ町田はともにFリーグの下部組織です。JFA 全日本 U-18 選手権の東京都大会準決勝ではすみだが、関東大会決勝では町田が勝ち、12月の東京都リーグでは引き分け。今期の対戦成績は五分のところでの東京同士の決勝戦でした。互いを知り尽くした者同士のゲームは見どころ満載。YouTube 動画解説の多摩大学・福角監督も喜んでおられました。年末のスペイン遠征でさらに力をつけた夏のJFA王者にとっては悔しいゲームですが、高いレベルで競い合った両チームの表情は晴れやかでした。「ここから先が本当の勝負だ」と自覚しているかのようでした。

全国各地で個性的なチームや選手が育っています。様々なルートでU-18 フットサルにたどり着いた彼らは、コロナ禍の3年間を経て、それぞれの道を歩み始めます。大学やFリーグ、海外へ出て競技生活を続ける者、趣味として続ける者、あるいはフットサルをささえる側へ進む者など多様です。U-18年代は次の飛躍の準備期間。とても大事な通過点です。この時期に

フットサルの醍醐味を味わい、多くの仲間と交流を深め、夢や希望を持って次の世界に羽ばたいてもらいたいと思います。そしてこの大会が、U-18年代の大切な思い出の一つとして残ってくれることを願います。

11月13日に千曲市総合観光会館で「温泉街をスポーツで盛り上げよう！ーU-18FLCC キックオフシンポジウム@千曲」を開き、「千曲市とともに」歩んでいくことを開幕挨拶で述べました。開催にあたり小川修一市長からメッセージをいただき、千曲市での開催にご尽力くださった岡田昭雄前市長は決勝戦を見に来てくださいました。上山田温泉の方々、もちろん長野県フットサル連盟の方々など、地元の全面的なご理解とご協力を得て、この大会が無事開催されたことに感謝します。

この大会を創設期からささえてくださった長野県サッカー協会フットサル委員長の村山吉郎さんが、昨年9月に急逝されました。故人のご遺志を受け継ぎながら、これからも千曲市とともに、この大会を盛り上げていく所存です。

コロナの先を見据えながら、「リーグ戦のある“日常”を」、皆で作りに上げていきましょう。

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実

大会要項（一部抜粋）

1. 名称 第7回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ

2. 主催 特定非営利活動法人サロン2002

3. 主管 長野県フットサル連盟

4. 後援 長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、千曲市サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会

5. 協賛 多摩大学

6. 会場 ことぶきアリーナ千曲（長野県）

7. 日程 2023年1月7日（土）、8日（日）

8. 参加資格

(1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。

(2) 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない

(3) 2022年度の選出元のU-18フットサルリーグまたはその代替となる大会に登録・出場している選手であること。

9. 参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

(1) 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2022年度のU-18フットサルリーグの優勝チーム。ただし本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、優勝チーム以外のチームを、単独チーム、選抜チームを問わず、リーグにて選出することを認める。

(2) 出場チームが16チームに満たない場合は、当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16チームでの開催とする。

(注) ただし、やむを得ない理由により16チーム未満での開催となることがある。により16チーム未満での開催となることがある。

10. 大会形式

16チームによるノックアウト方式で行う。1回戦・準々決勝敗者による交流戦を行う。

11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

※日サ協発第220135号については適用なしとする。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ 35～40m×16～20m

(2) ボール 試合球：フットサル4号ボール

(3) 競技者の数 ベンチに着席できる人数は、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている選手14名、役員4名を上限とする。

(4) 競技者の用具

(5) 試合時間 30分間(15分の2ピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフ

タイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

(6) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

① 交流戦は引き分けとする。

② PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

③ 決勝：10分間（5分の2ピリオド）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

13. 懲罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

(2) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

(3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

14. 参加申込

(1) 1チームあたり26名(役員6名、選手20名)を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。

(2) 申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

15. 電子選手証

各チームの登録選手は、日本サッカー協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

22. その他

(1) 代表者会議は2022年12月28日（水）19:00よりオンラインにて行う。

(2) 試合開始の60分前、マッチナンバー13、14は40分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。

(3) 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。

(4) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。

(5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(6) 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。

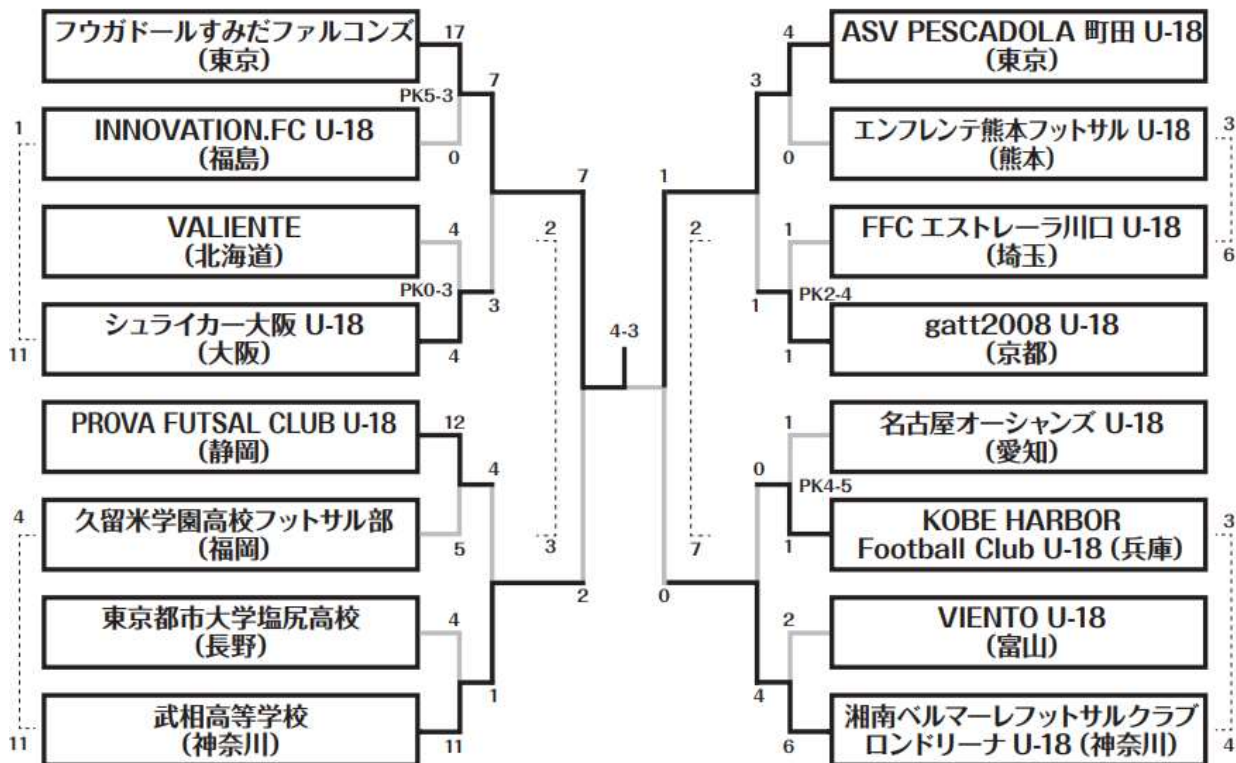
(7) 選手、役員以外に20名の客席への入場を認める。ただし体育館内滞在は試合時間帯のみとし、終了次第、館外に退出すること。

(8) 全試合の映像をYouTubeで配信する。昨年までは関係者限定の配信としたが、本年度は、映像を公開し、継続的に閲覧可能とする。

大会結果

第7回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

2023年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



フウガドールすみだファルコンズ (東京)

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	大多和 一虎	PROVA FUTSAL CLUB U-18	7
2	石井 想一郎	フウガドールすみだファルコンズ	5
2	祖父江 隆ノ介	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5
4	深澤 珂斐	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4
4	長木 シンジ	湘南ベルマーレフットサルクラブロンドリーナ U-18	4
4	松田 隆幹	武相高等学校	4
4	帆足 江	フウガドールすみだファルコンズ	4
4	秋山 大晟	フウガドールすみだファルコンズ	4
4	春日 陵河	フウガドールすみだファルコンズ	4

賀川浩賞 (得点王)



大多和一虎 選手

賀川浩

1924年神戸出身。神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員、2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム

国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国際 YF）

日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国内 YF）

国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国際 YF）は、世界中にあるクーベルタンスクール（右図参照）の高校生が2年に一度集まり、座学やスポーツ、アート活動を通してオリビズムを学び、交流を深めあう行事である。主催は国際ピエール・ド・クーベルタン委員会（CIPC）で、毎回100名余りの高校生が世界中から集まる。日本からは2009年より生徒を派遣（右表参照）、2011年からは筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）が中心となってこの行事に取り組み、2015年からは派遣生徒の選考を兼ねた「クーベルタン-嘉納ユースフォーラム」が、国内の高校生向けのフォーラムとして開かれるようになった。2017年からは中京大学でも「JOA ユースセッション」の名称で行われ、国内2か所のユースフォーラムから7名の生徒が選考され、派遣されるようになった。

CIPCの国内組織として日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）が2019年8月に発足し、2020年度か

からはCJPCが国内YFの主催者となり、国内YFの企画・運営、国際YF派遣生徒の選考および派遣母体となっている。NPO法人サロン2002は、理事長が本事業の立ち上げから深く関わることもあり、国内YFには毎回、共催、後援、協力、主管など、さまざまなかたちで携わってきた。

第13回大会は当初、2021年夏にキプロスで開催される予定であったが、新型コロナ感染拡大の影響で2022年10月に延期された。その後ウクライナ情勢の悪化などによりキプロス開催を断念、2022年11月に規模を縮小してミュンヘンで開催されることとなった。

派遣生徒の合宿研修は2022年10月に開催、5名の生徒を無事派遣することができた。また12月末には国内YFを、オンラインと対面のハイブリッド型で実施し、新たな可能性を探ることができた。

The Map of the International Network of Pierre de Coubertin Schools



国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム

- 第1回 1997年 ル・アーブル(フランス)
- 第2回 1999年 マッチ・ウェンロック(イギリス)
- 第3回 2001年 ローザンヌ(スイス)
- 第4回 2003年 アレンツァーノ(イタリア)
- 第5回 2005年 ラートシュタット(オーストリア)
- 第6回 2007年 ターボル(チェコ共和国) ... 日本に紹介
- 第7回 2009年 オリンピア、パリニ(ギリシア) ... 日本初参加
- 第8回 2011年 北京(中国) ... 筑附高から2名
- 第9回 2013年 リレハンメル(ノルウェー) ... 筑附高から2名
- 第10回 2015年 ピエスチャニ(スロバキア) ... 日本から7名
- 第11回 2017年 ウルヌルメ(エストニア) ... 日本から7名
- 第12回 2019年 マコン(フランス) ... 日本から6名
- 第13回 2022年 ミュンヘン(ドイツ) ... 日本から5名

第13回 国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム

第3回 事前研修会 実施要項

【日時】2022年10月1日（土）、2日（日） 一泊二日

【会場】中京大学附属中京高等学校（名古屋市昭和区川名山町122）

および中京大学豊田キャンパス（愛知県豊田市貝津町床立101）

【宿泊】日本ガイシアリーナ 宿泊研修室

【参加予定】高校生（6名）、スタッフ（9名）

【実施プログラム】

1日目 @中京大学

12:00 名古屋駅集合 →バスで移動

13:00 中京大学到着

13:15~14:00 開会、アイスブレイク

14:15~15:15 ミュージアム見学

15:30~17:00 スポーツテスト対策

17:15 中京大学出発 →バスで移動

18:15 日本ガイシアリーナ到着

18:30~19:30 夕食

19:45~21:00 ディスカッション

23:00 消灯

2日目 @中京大中京高校

07:40~08:00 朝食？

08:20 日本ガイシアリーナ出発→バスで移動

08:45 中京大中京高校到着

09:00~09:50 知識テスト対策

10:00~13:00 ダンス練習、

ミニエキスポ買い出し、昼食

13:10~15:00 ポスター作成。

事務連絡後解散（バスで移動）

【持ち物】

体育館シューズ、運動服、洗面用具、その他宿泊に必要なもの

【費用】

宿泊費1,600円（日本ガイシアリーナ1泊）、交通費500円（移動の際のバス代）、夕食代800円

→ 合計 2,900円 +新幹線代（各自）+2日目朝食代+2日目昼食代+その他飲料等購入代

【当日の集合について】

・東京方面からの参加者は、同じ列車・号車の新幹線に乗って名古屋駅まで移動します。

指定列車：10時09分 東京発のぞみ23号 N700系 博多行 名古屋11時45分着

・愛知県在住の参加者も、名古屋駅に集合してください。

注) 第1回研修は6月8日（水）18:30~20:00、第2回研修は7月29日（金）13:00~16:30に、いずれもオンライン（Zoom）で実施した。第3回研修会が最初で最後の対面での研修会であった。

NPO法人サロン2002からは、中塚理事長がすべての研修会の企画・運営に携わった。

11月1~8日にミュンヘンで開かれた第13回国際YFについては、以下をご参照いただきたい。

◆2023年2月（通算316回）公開サロン「第13回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム 報告ーコロナ禍のオリンピック教育」 内藤 智（中京大学附属中京高校）

https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2023/2023-2.pdf

日本ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム 2022 実施要項

【目的】

日本の高校生がオリンピック・パラリンピックについての基本的な知識を習得し、多彩な活動を通してオリンピズムやオリンピックムーブメントについての理解を深め、様々な学校の参加者と交流する。本フォーラムの活動を通して、次世代のスポーツ文化の担い手となる人材の育成に寄与する。

【主催】 日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 (CJPC)

【共催】 特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー (JOA)

【主管】 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム (CORE)、中京大学
特定非営利活動法人サロン 2002 (NPO サロン 2002)

【協力】 東海学園大学スポーツ健康科学部、過去の国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム参加者

【開催日】 2022年12月26日(月)、27日(火) 宿泊なし

【開催形式】 対面およびオンライン(初日:オンライン、二日目:対面・オンライン併用)

【開催場所】 関東地区; 筑波大学附属高等学校・桐蔭会館

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-9-1

中部地区; 中京大学附属中京高等学校 5号館 マルチパーパスルーム

〒466-8525 名古屋市昭和区川名山町 122

【全体テーマ】 オリンピックと平和

【問合せ先】 日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 (CJPC) 事務局

〒206-8515 東京都多摩市永山 7-3-1 国士舘大学田原研究室内

【プログラムとスケジュール】

◆ 1日目: 12月26日(月) オンライン

9:00~10:00 オープニング(挨拶: 田原淳子先生) / オリエンテーション(中塚義実先生)

10:10~12:40 演習① 中京大学スポーツミュージアム活動(講師: 来田享子先生)

12:40~13:40 昼休憩

13:40~14:30 講義① クーベルタンの思想と行動からオリンピズムを考えよう(講師: 和田浩一先生)

14:40~15:30 講義② 嘉納治五郎とオリンピックムーブメント(講師: 大林太朗先生)

15:45~16:15 第13回国際YF参加報告(内藤智先生、国際YF参加者)

◆ 2日目 12月27日(火) 対面(オンライン併用)

9:00~9:10 諸連絡等

9:10~10:00 講義③ オリンピックの平和運動(講師: 舛本直文先生)

10:10~12:30 演習② OVEPを用いた特別講義、グループディスカッション

(講師: 宮崎明世先生、Karen Pullupaxi 先生)

12:30~13:30 昼休憩

13:30~14:20 グループディスカッション発表

14:40~16:10 運動プログラム(講師: 関東; 中塚義実先生、中部; 木村華織先生)

16:25~17:00 クロージング(挨拶: 嶋崎雅規先生)

17:00 解散

※課題レポートを12月28日(水)中に提出する

5. 事務局報告

1. 2022年度NPO法人サロン2002 会員・ファミリー人数

- ① NPO法人サロン2002 会員数 29名
- ② サロン2002 ファミリー人数 102名 (NPO 会員含む)

2. 2021 年度役員・事務局

- ① 理事長 中塚義実
- ② 副理事長 本多克己
- ③ 理事 春日大樹、熊谷建志、齋藤宣彰、関秀忠、土谷享、本郷由希
- ④ 監事 茅野英一、小池靖
- ⑤ 事務局 守屋俊秀、守屋佐栄
- ⑥ 顧問税理士 松下徹

3. 事業内容

	事業内容
通年	サロン2002 ファミリーの募集、ホームページ・メーリングリストの運営、会員名簿の管理
4月	4月公開サロン「ユースリーグのこれからを考える① - 「DUO リーグのトロフィーがない！」プロジェクトを中心に」
5月	5月公開サロン「ユースリーグのこれからを考える②-U-18 フットサルリーグを中心に」
6月	2020年度サロン2002 総会 6月限定サロン「コロナ後の持続可能なあり方をめぐって」
7月	7月公開サロン「歯磨き感覚でスポーツは可能か？(第2弾) ~18年前の続きの話~」
8月	8月公開サロン「岐阜県発陸上クラブが提供する新しい価値-一部活動地域移行・競技横断・ITシステム」
9月	9月公開サロン「2022世界のサッカー-オリンピックとワールドカップの間で」
10月	10月限定サロン「公開シンポジウムの”成功 “のために」
11月	公開シンポジウム@千曲「温泉街をスポーツで盛り上げよう」
12月	12月限定サロン「ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構え-サロン2002 行動規範をつくらう！」
1月	「第6回U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ」主催 公開シンポジウム@神戸「もっと遊ぼう！スポーツとアートができること」
2月	2月公開サロン「第13回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム報告-コロナ禍でのオリンピック教育」
3月	3月公開サロン「みるスポーツとしてのFIFAワールドカップ-カタール大会を振り返って」 広報誌「遊 ASOBI 第4号」の発行

注) 公開サロン：参加対象を広く一般に公開

限定サロン：参加対象をサロン2002 ファミリーに限定

以上